ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2025/02/20 号(As of 2025/02/19)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	152.14
TKY 9:00AM	151.91	1.0448	158.63	1.2625	0.6352
SYD-NY High	152.31	1.0461	159.02	1.2641	0.6370
SYD-NY Low	151.25	1.0401	157.79	1.2564	0.6337
NY 5:00 PM	151.48	1.0423	157.96	1.2586	0.6345

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,627.59	71.25	日本2年債	0.8200%	▲0.0050%
NASDAQ	20,056.25	14.99	日本10年債	1.4350%	0.0050%
S&P	6,144.15	14.57	米国2年債	4.2708%	▲0.0337%
日経平均	39,164.61	▲ 105.79	米国5年債	4.3639%	▲0.0373%
TOPIX	2,767.25	▲ 8.26	米国10年債	4.5337%	▲0.0177%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,005.00	▲ 320.00	独10年債	2.5490%	0.0585%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,712.53	▲ 54.20	英10年債	4.6100%	0.0530%
DAX	22,433.63	▲ 410.87	豪10年債	4.5210%	0.0670%
ﾊﾝｾﾝ指数	22,944.24	▲ 32.57	USDJPY 1M Vol	9.29%	▲0.10%
上海総合	3,351.54	27.05	USDJPY 3M Vol	9.84%	▲0.05%
NY金	2,936.10	▲ 12.90	USDJPY 6M Vol	9.82%	0.05%
WTI	72.10	0.27	USDJPY 1M 25RR	▲1.22%	Yen Call Over
CRB指数	316.63	1.10	EURJPY 3M Vol	10.20%	0.09%
ドルインデックス	107.17	0.12	EURJPY 6M Vol	10.17%	0.08%

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は151.91ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。高田日銀審査委員の「一段のｷﾞｱｼﾌﾄを進める局面」との発言もあり151.70台まで下落。しかし、講演内容は想定内だったか直後に反発し高値152.31をつける。その後は上値重い推移となり、結局ｽﾀｰﾄ時の水準を割り込む151.61ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。
ロンドン	ﾄﾞﾙ円は151.61ﾚﾍﾞﾙで始まり、151.55から151.96のﾚﾝｼﾞで取引された後、151.91ﾚﾍﾞﾙでﾆｭｰﾖｰｸに渡った。英国1月ｲﾝﾌﾚ率が発表され総合CPIは3.0%だった（ｺﾝｾﾝｻｽは2.8%）。ｺｱ指数は予想通り3.7%だった。ｻｰﾋﾞｽ部門CPIの上昇率はｺﾝｾﾝｻｽをやや下回った。これは3月の利下げの確率をさらに低下させたが為替市場の反応は鈍かった。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は152円台前半でｽﾀｰﾄ。高田日銀審議員の「今後の経済･物価見通しが実現していけば、一段の利上げを行うべき」との発言や、日経平均株価の軟調な展開を受け円買いが優勢となり、151.55まで下落。その後下げ渋り、151.91ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米1月住宅着工件数が市場予想を下回った事を受け、米金利の低下を背景とした売りが優勢となり、151.25まで下落。その後は米株が下げ幅を縮小する動きを受け下げ渋り、151.80付近まで戻す。午後に発表された米1月FOMC議事録では、「ﾊﾞﾗﾝｽｼｰﾄのﾗﾝｵﾌの停止あるいは減速を検討するのが適切かもしれない」との内容が示されると、米金利の低下に追随し、151.40付近まで反落。その後は151.50付近を中心とした推移が続き、151.48ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.04台半ばでｽﾀｰﾄ。1.0461まで上昇する場面もあったが、その後米金利の上昇に伴ったﾄﾞﾙ買いが上値を抑え、1.0428ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中はﾛｼｱとｳｸﾗｲﾅの紛争終結の先行きが不透明になった事が嫌気され、ﾘｽｸｵﾌのﾄﾞﾙ買いから1.0401まで下落。午後は下げ渋り、1.0420付近まで小幅反発し、1.0423ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【昨日の指標等】

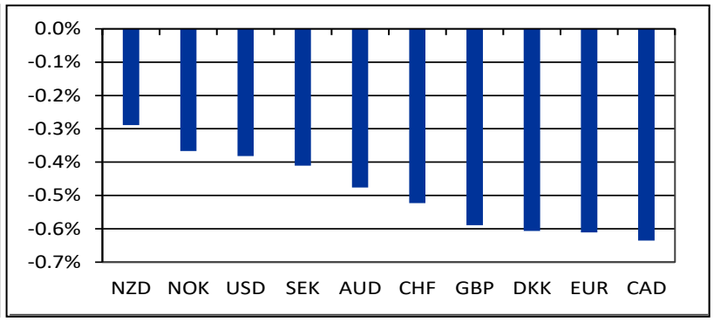
Date	Time		Event		結果	予想
2月19日	10:30	日	高田日銀審議員講演		「一段のｷﾞｱｼﾌﾄを進める局面」	
	16:00	英	CPI(前月比/前年比)	1月	−0.1%/3%	−0.3%/2.8%
	16:00	英	CPIｺｱ(前年比)	1月	3.7%	3.7%
	22:30	米	住宅着工件数	1月	1366k	1390k
	22:30	米	住宅着工件数(前月比)	1月	−9.8%	−7.3%
	22:30	米	建設許可件数・速報	1月	1483k	1460k
	22:30	米	住宅建設許可(前月比)・速報	1月	0.1%	−1.5%
2月20日	04:00	米	FOMC議事録		「インフレ高止まりする場合は、政策金利を抑制的な水準で維持」	

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
2月20日	09:30	豪	雇用者数変化	1月	20.0k	56.3K
	09:30	豪	失業率	1月	4.1%	4.0%
	16:00	独	PPI(前年比)	1月	1.2%	0.8%
	22:30	米	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ連銀景況	2月	14.3	44.3
	22:30	米	新規失業保険申請件数	15−Feb	215k	213K
2月21日	00:00	欧	消費者信頼感・速報	2月	−14.0	−14.2

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.80−152.30	1.0380−1.0500	157.00−159.00

【マーケット・インプレッション】

昨日は日銀高田審議委員から一層のタカ派な発言がされるかに注目が集まった。ただし、「一段のギアシフトを進める局面」との発言はあったものの、利上げペースを大きく左右するものではなく、ドル円の値動きも一時的なものだった。さらに米国時間に発表された米１月FOMC議事録では、インフレの高止まりと経済政策の不確実性を理由に金利据え置きを支持する考えが表明されていた。昨日の複数のFRB高官も様子見のスタンスを支持しており、足元、FRB高官の発言はマーケットを動かす材料とはなりにくい。これら現状を鑑みると、本日は複数FRB高官の発言や米新規失業保険申請件数の発表が予定されるものの、ドル円はレンジ内での値動きに留まると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山口・松木